



あっという間に2月。今年度もあと2か月となりました。年明けから驚くほどの水漏れ事故・次いでとうとう感染症に生活を止めざるを得ない状況になってしまい、重ね重ねご心配・ご迷惑をおかけしてしまいました。今回の水漏れはもともとの施工の仕方にも不備があったこともあり、シャワーのカランを交換しただけの修理が園舎の半分が痛んでしまうことになってしまい、建築会社の方にも大変な思いをさせていただきましたが、「子どもが過ごす場所は安心安全が基本」とすべての修理を担っていただき着々と復旧しています。

保護者の方々には水漏れの状況をお知らせし、とにかたくタオル・新聞を！！と依頼するとたくさんの皆さんが惜しみもなく新品のバスタオルやタオル・雑巾をわざわざ購入して持ってきて下さったり、「大変ですね。疲れが出ないようにしてください」「何か手伝いしましょうか」などのお声もかけていただき、涙が出るほどうれしかったです。ありがとうございました。



玄関（工事前）



玄関（工事後）



調理室（工事前）



調理室（工事後）

27年前の阪神淡路大震災の時、一瞬で多くの物や命が壊れ、皆が「無」になってしまった時も、気づけば一人一人が声を掛け合ったり、励ましあったりして何とか乗り越えてきました。今年も震災の日1月17日には今回のことも含めて子どもたちには、「もし困ったり、どうすることもできない事（天災）が起こった時「自分にできることは何か」を考えられる人になってほしい」と話しました。皆さんが大きくなるまでに怖かったり、大好きなことができなくなったりすることが起こってしまうかもしれないが、泣いたり、怖がったりしてずっとそのまま「無」になるのではなく一生懸命、自分にできることを探すことで何か違った方向に向いていけるということ。そして自分の命をどう守っていくか、時には助け合い、励ましあって進んでいくことができることを丁寧に伝えました。みんなの命をみんなで守る事を今回の水漏れや感染症対応で振り返る機会となりました。

感染症が収まらない毎日でこの先不安になる状況の中、あまりにも拡大しすぎて保育園生活が危ぶまれています。この度は保育者が元気で何事もなくお子様の生活を支えていけることが当たり前で、園を休園すること等ないと保育を進めていましたが、もう防ぎきれなくなっていました。

職員にはコロナ感染が出始めた2年前から生活の制限（外食の自粛・人流をさける・行動記録を取る・勤務時間内2度の検温とマスク交換）は徹底していました。また、園児とは別の場所で食事をしたり換気も励行していましたが、防ぎきれずご心配をおかけしました。

世界中が震撼させられた感染症ですが今後は共生するといわれていますが、どう進めていくかは悩みます。どうぞ、正しい情報をもとに対応し、時には保護者の方々の判断に委ねることもあるかと思いますが皆様とお子さまの生活を守っていきたいと思います。どうぞご理解よろしくをお願いします。

年明けからコロナの心配だけでなく、園内の水漏れ・それに伴う改修工事などで保護者の皆様や子どもたちに行事や日々の生活でご心配やご迷惑をおかけしています。

1月初旬は寒い日が続きました。今年はおやつの「七草粥」を子どもの目の前で作ってあげられたらと思い、「だいちさんのひみつのじかん」に大きな土鍋にご飯とだし昆布・水を入れ、お粥が炊けていく過程を経験してもらいました。私がお粥を炊いている間に担任と「七草」の名前を見たり聞いたり、名前を知っている子が教えてくれたりの時間を過ごしました。七草を入れ、仕上げに塩を入れようとしたところで「今日はふじもりしょうゆでなくて、塩なんだ」と言う子がいました。それを聞いていた別の子が「今日もきっとおいしいはず」と言ってくれ「味覚」や美味しいものの作り方などが少し根付いてきたことを感じ、食育を進めてきてよかったと感じました。

寒い日でしたが、園庭で距離を取って、熱いお粥でお腹を温め、全員で食べる事ができました。このように計画通りの食育活動ではなく今回のようなアクシデントもありましたが、楽しさ・おいしさに変えながら大切な「おいしく食べること」が達成できたと感じます。

園庭で昼食に肉みそ入りの野菜一杯のお味噌汁・後日にはおやつに炭火での焼き芋作りなどだいち組さんはみんなには内緒の焼きマッシュマロも楽しみました。

2月は保育園で無事に楽しく生活する事ができるよう、衛生管理を徹底し、「楽しさを大切にしていきたい」と思っています。

主幹保育教諭 藤森寿美

昨年の末、だいちさんと共に“保久良山”へ登りました。途中で見つけた“保久良神社”^{こまいぬ} 狛犬を見つけたAくんが、じっと眺めていました。「これは、なんだろうね」と声を掛けると、「ライオンかな」「ししまいじゃない」周りにいた子ども口々に話していました。記念式典で見た獅子舞が記憶に残っていたようです。

その日は写真に収めて帰ったのですが、年を明けてふと思い出しました。

写真を紙に印刷してAくんに声を掛けると、「そうだ、これ調べたかったんだ」そう言いながらAくんが本棚から意気揚々と持ってきたのは、国語辞典でした。

“なにか使えるかな”と別の保育者が家から持参し、そっとお部屋に用意していたようです。

「たぶん、こまいぬじゃなかったかな」早速、国語辞典で“こ”の欄を調べ始めました。

「こ、こ、こ…こあ、こい、こう…」何やら楽しそうな雰囲気を感じ取ったのか、周囲にいた友だちも覗き込みます。「あった！」ぱっちりイラスト付きで載っていました。「こまいぬ…ライオンににた、けもの像。まよけとされている…」力を込めて鉛筆で書きとめると、

顔をあげて一言。「でもさあ…けものってなんだ？」再び国語辞典で“け”の欄を探すのでした。

「これはししまいじゃないよ」と大人が知恵を絞って説明をしても、きっと「けもの像」という言葉は出てこなかったでしょう。そして、なんととっても発見した瞬間のAくんの心のときめきは、自分の手で調べたからこそそのものだと思います。

分からないこと、知りたいこと、初めてに出会った時…自分の力で答えを見つけ出す喜びを幼い頃から感じることは、きっと子どもたちのこれからも繋がっていくことと思います。子どもたちが“知りたい”に出会い、ときめく瞬間を、大切にしたいです。

副主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：『室内で身体を動かして遊ぶ』『好きな遊びを楽しむ』

うた：『あたまかたひざぼん』『ひなまつり』 わらべうた：『オヤユビネムレ』『かごかご』

寒い日が続きますが、元気いっぱい体操で身体を動かしている子どもたち。日差しが暖かい日には園庭に出て築山に登ったり、幼児さんと一緒にすべり台を滑ったりと自分の好きな場所や遊びへと向かい思う存分楽しんでます。お兄さんお姉さんの真似をして砂を型に入れてひっくり返して砂のケーキを作っているのを見て憧れて真似をしているようです。これからも徐々に上手くなる子どもたちの姿を保護者の皆様にもお話ししていきたいです。

“登れるかな？”

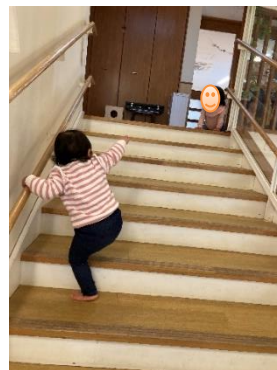
寒い日が続き、室内で過ごしながらも、窓を開け外気温とあまり差がないように気を付けながらゆったり過ごしています。積極的に鉄棒にぶら下がり、築山や園庭の階段を上るなど腕や足の力がついてきました。そのため、ランチルームでロッククライミングに挑戦しました。ロッククライミングを見て、はやくやってみたくて目を輝かせていたり、大きな壁に少し驚いていたり反応は様々。登れた子どもは“みて、のぼれたよ”と少し得意げな表情で保育者の顔を見ていたり、登れなかった子どもも何度も挑戦していました。その日以来、にこにこ広場を通るたびにランチルームを見て「ん、ん」と行きたいと保育者に伝えています。子どもたちにとってとても楽しい経験になったようです。



ロッククライミングを見て、はやくやってみたくて目を輝かせていたり、大きな壁に少し驚いていたり反応は様々。登れた子どもは“みて、のぼれたよ”と少し得意げな表情で保育者の顔を見ていたり、登れなかった子どもも何度も挑戦していました。その日以来、にこにこ広場を通るたびにランチルームを見て「ん、ん」と行きたいと保育者に伝えています。子どもたちにとってとても楽しい経験になったようです。

“おいでおいで”

階段を上手に上り下りができるようになってきました。積極的に園庭でも室内でも階段の上り下りをして、身体を動かして遊んでいます。しっかり手すりを持って上ったり、ハイハイで上ったり成長に合った上り方をしています。2人ずつで上りにいくとそれぞれのペースで上るのでゆっくり上っている子どももいます。前を先に進む子どもがすぐ後ろに友だちがいないことに気が付くと「おいで～」といいながら手招きしています。普段から幼児のお兄さんやお姉さんたちが優しく「おいで、おいで」と声を掛けてくれていた姿を覚えているのでしょう。友だちとも優しく笑顔向ける姿が増えてきました。



成長に合った上り方をしています。2人ずつで上りにいくとそれぞれのペースで上るのでゆっくり上っている子どももいます。前を先に進む子どもがすぐ後ろに友だちがいないことに気が付くと「おいで～」といいながら手招きしています。普段から幼児のお兄さんやお姉さんたちが優しく「おいで、おいで」と声を掛けてくれていた姿を覚えているのでしょう。友だちとも優しく笑顔向ける姿が増えてきました。

“担任の思い”

朝の集いが終わると音楽を流し体操をするようになりました。初めは、保育者の動きをボーっと見ていた子どもたちでしたが、今では曲の最初を聞くだけで『マスカット』を踊るのか、『ミックスジュース』を踊るのかが分かるようになるほど体操の時間を楽しみにしています。少しずつ保育者の動きを模倣できるようになり、「バンバン、いえいはいえい」と元気よく言ったり、首を回したり屈伸をしたりしている姿がとっても可愛いです。隣のふたば組の部屋で流れている音楽にも合わせて踊っている姿も見られます。これからも音楽に合わせて身体を動かすことを保育者も子どもたちと一緒に楽しんで、めばえ組で過ごせる2か月を過ごしていきたいと思えます。

日笠 加菜・西田 汐里菜・小板橋 円香

～ふたばぐみ～

ねらい：「寒さに負けず、身体をたくさん動かして元気に過ごす」「お友だちとの関わりを楽しむ」

うた：「まめまき」「ひなまつり」「ふしぎなポケット」 わらべうた：「どんぶかっか」「もぐらどん」

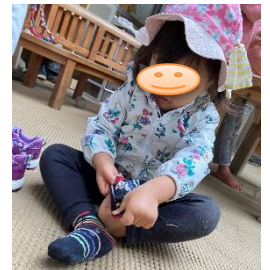
年が明け、雪の降る日があるほど寒くなってきましたね。そんな中でも、子ども達は上着や靴・靴下を身に付けて元気いっぱいお外あそびを楽しんでいます。準備が出来ると「しゅっぱーっ！」の掛け声と共に玄関へ走り出し、靴下や靴も“自分で出来ることは自分でやってみよう”と挑戦中です。難しい場所は「手伝って」と保育者と一緒に取り組み、無事に出来た時には「できたよ！」と、とても嬉しそうな表情で教えてくれます。

“できない”が“できる”に変わった瞬間の子ども達の目は、嬉しさと誇らしさでキラキラ綺麗に輝いています。小さな“できた！”を沢山経験し、子ども達の自信を積み重ねていきたいと思います。

“あけましておめでとうございます”

1月上旬、幼児さんが園庭で羽子板に挑戦していました。周りで応援しているお兄さんたちと一緒に、“コンッ”と響く音とひらひら揺れる羽を見学するふたば組の子ども達。保育者が使い方を伝授せずとも、気がつけば幼児さんに囲まれて羽子板を握り、振っていました。なんとなく振って雰囲気を楽しむ子、羽を片手に持ち上手に打っている子、飛んで行った羽を追いかけて楽しむ子…それぞれ思い思いの方法で昔ながらのお正月遊びを体験しました。

また、新年の遊びとしてお部屋には福笑いが登場しました。始めは“なんだろ…？”と不思議そうな表情の子ども達でしたが、パーツを一つずつ並べて顔が出来上がる様子を見ると、“なるほど！”と興味津々な目になっていました。福笑いは「おかめ」と「ひょっとこ」の2種類の顔があります。おかめのタレ目が眉毛・まる眉が目になったり、ひょっとこの口が下を向いていたり、どこかクスッと笑える顔が出来上がりました。「福笑い」「笑う門には福来る」の由来の通り、



これからの一年間、ふたば組やかえで保育園のみんなに幸せが舞い込んでくれることを願っています。

“おふるですよ～”

赤ちゃん人形をとてかわいがってお世話しているふたば組の子ども達。ギュッと抱きしめたり、お布団をかけて寝かしつけてあげたり、作ったご飯を食べさせてあげたり、子ども達が保育園やご家庭でもらっていることを赤ちゃんにしてあげているようです。お洋服を脱がすことも好きで、裸んぼうの赤ちゃん人形とご飯を食べていることもしばしばありました。そこで、お洋服を脱ぐのであればお風呂に入ろう！とクリスマスプレゼントで理事長サンタさんから赤ちゃんのお風呂セットをもらいました。裸んぼうになった赤ちゃんを優しくお風呂に入れると「あわあわ～」と頭と体をなでなで。お風呂から上がった後はクリームをお顔やお腹に塗ってあげる子もいました。

お家の方や保育者、お兄さんお姉さんたちに「してもらったこと」を「してあげたい」気持ちは、人形だけでなくめばえ組の子ども達にも発揮されています。保育者の真似をして「いっぽんばーし♪」とわらべ歌をしてあげたり、「こわくないよ～」と箱ティッシュ獅子舞から守ってあげたり、「だいじょうぶ？」と泣いている子の涙を拭いて撫でて励ましてあげたり…まだまだ小さな子ども達ですが、気持ちはすっかりお兄さん・お姉さんのようです。

“担任の思い”

生活でも遊びでも、出来る事が沢山増えてきた子ども達を見ていると、あと2ヶ月でつぼみ組になるんだな～と一年の早さを感じ、楽しみなような、少し寂しいような気持ちになりました。二月は逃げる・三月は去る、と言われていますが、あっという間に過ぎていく時間を大切に、寒さに負けず面白い事・興味あるものを増やして楽しい日々を過ごしていきたいと思います。

立田 瑛怜菜・松岡 桃花・福井 真裕子

～つぼみぐみ～

ねらい：「友だちの気持ちを考えようとする・幼児への憧れをもつ」

うた：「幸せなら手をたたこう」「コンコンクシャンのうた」

新年が明け新しい年がスタートしました。寒さの厳しい 1 月でしたが子ども達は園庭で元気に遊び身体を動かす事を楽しんでいます。寒さに交ざってちらちらと雪が舞えば大喜びで手を大きく広げ、飛び回る子ども達。「子どもは風の子」とはまさにこのことだなとしみじみ思いながら私たちも元気をもらっています。

今年もみんなが元気に健康で 1 年を過ごせますように！とお願いをして残りの 2 ヶ月も楽しく過ごしていきたいと思います。

～クイズクイズ！！～

今お集りで子ども達が楽しみにしている「クイズ」遊び。保育者の「クイズクイズ！」の掛け声が始めればすぐさま「なーんのクイズ？」と元気いっぱいな声が返ってきます。クイズの内容は毎日様々で色や食べ物、動物に乗り物…子ども達の身の回りの物を楽しくクイズにして出題しています。



一人ずつみんなの前で答えを伝えてもらうのですが、中には「なるほど！」と思わされるものも多く、子ども達の柔軟な思考にびっくりさせられます。初めの頃はどうしても恥ずかしくてもじもじしてしまう子もいましたが、周りの友達が優しく教えてくれたり、一緒に発表してくれたりと友達の優しさが感じられました。間違えても大丈夫！もう一度考えてみよう！そんなクラスの優しさが溢れるこのクイズの時間が子ども達だけでなく保育者にとってもほっこりとできる癒しの時間です。

～うんとこしょ！どっこいしょ！～

秋に植えたカブが大きく育ってきました。みんなで毎日観察やお世話をしながら大切に育てる中で、「まだかな？」「はやくたべたいね」と楽しみにしてきました。お部屋には「おおきなかぶ」の絵本を置き、みんなで「うんとこしょ！どっこいしょ！」と友達の背中を持ち合って絵本のように抜く真似っこをして遊んできました。そんな姿は実際の収穫時にも活かされ「せーの！」の掛け声の下、1 列になった子ども達が勢いよくカブを抜く様子はとても可愛らしかったですよ。絵本の世



界が現実となり子ども達も「やった～！」と大喜びでした。豊作となったカブたちはお昼ご飯に美味しく食べました。みんな「これ抜いたカブ？」「おいしいね」と自分たちで育てた物は格別だったようでたくさん食べることができました。幼児さんになってもたくさんの栽培を経験して食への興味を広げて行って欲しいです。

“担任の思い

いよいよつぼみ組での生活も残りわずかとなってきました。2階への階段を嬉しそうに上っていた子ども達がつい最近のように感じられます。最近ではひかり組のペアとの関わりを通して“お世話をしてもらっ喜び”を感じ、会話の中でも「もうすぐ4さい！」と大きくなることを楽しみにしています。そんな姿は生活や遊びの中でも感じられるようになり、一人で身の回りの支度を整えたり、遊びの中では自分たちでルールや順番を決めようとしたり…。できることがぐんと増えてきました。いつの間にこんなことができるようになったの？と保護者の方からの驚く声も聞かれますが、日々の生活の中で沢山の事を吸収して、経験している子ども達はすっかりお姉さん、お兄さんですね。これからもどんなことを経験して、発見していくのか…子ども達の成長が楽しみです。

今井 奈沙・坪金 玲奈・小城 美紗

～いぶきぐみ～

ねらい：「友だちと過ごす心地よさを感じる」「身の回りのことを自分でしようとする」

うた：「まめまき」「がんがん」「ゆきのこぼうず」

年が明けてから保育園で会った友だちに「あけましておめでとうございます」「ことしよろしくおねがいます」と丁寧にあいさつしたり「久しぶり！」「お休みの日は何してたん？」と友だちとの再会を喜ぶ姿が見られ、微笑ましく思いました。いぶき組になって友だちの輪が同じクラスだけではなくひかり・だいち組にも広がり遊びや生活の場面で沢山刺激を受け、出来ることもたくさん増えたいぶき組。今の幼児クラスでの時間を大切に残り2ヶ月過ごして欲しいです。



～はねつきにちょうせん！～

お正月遊びに親しんでもらおうと園庭に羽根つきを用意しました。

初めはだいち組の友だちが遊んでいるのを遠くからじっと見ているだけでしたが、見ているうちにやってみたくなったのか、羽根つきをしているすぐそばで待っていました。だいち組が使い終えたタイミングですぐに羽子板を手に取り、いざ実践です。「そっちに立って！」と言いながら、見よう見まねで友だちと距離を取って向かい合います。羽に当てようと、狙い

を定めて羽子板を振って見ますが、掠ることなく見事な空振り！「あれ？おかしいなあ」と困っていましたが、だんだん空振りするのも楽しくなってきて向かい合った友だちと空振りしては笑いが起こっていました。

しばらくするとまだ同じ子が羽根つきを楽しんでいたのですが、羽を板に当てて高く飛ばしていました。

ついさっきまで空振りをしていましたが、数分後にはコツをつかんで羽を飛ばすという成長の早さに驚きを隠せませんでした。まだまだ打ち合いをするまでにはなっていませんが、友だちと一緒に伝統ある遊びを楽しんでくれていたことを嬉しく思いました。



～一緒に～

12月頃から、園庭で積極的に縄跳びに取り組んでいたAちゃん。

「みててね！」と言いながら、自分で縄を回してジャンプ！しかしなかなか縄を飛び越えることが出来ず、躓いてしまいます。「あ～引かかっちゃった」と残念な表情でしたが、何度も何度も繰り返し挑戦する姿がありました。年が明けて1月になり、園庭で縄跳びをしているAちゃんを見てると、連続で10回ほど跳べるようになっていました。「いつの間に跳べるようになったの！？」ときくと、照れくさそうに「おうちでも練習してん」と教えてくれました。近くにいた友だちも、「すごい！」「もう一回やって！」とAちゃんの周りに集まってきました。「一緒にしようよ」「教えて！」との声上がり「じゃあ私が回すから〇〇ちゃんは跳んでね」と一緒に縄跳びを楽しんでいました。頑張ったことをみんなに認められたことに、嬉しいような少し恥ずかしいような様子のAちゃんでした。



“担任の思い”

縄跳びにピアノに逆上がり…それぞれ自分がやりたい事を見つけて遊ぶこむ子どもが増えてきました。なかには難しくてもうまくいかず、その遊びをやめてしまう事もありますが、しばらくたった後や翌日に挑戦しています。粘り強く挑戦し続ける姿も素敵ですし、その姿を友だちが見てくれており「前も練習していたもんね」「〇〇ちゃんならできるよ」など相手を認める声掛けがあるというのは、子どもたち同士でいい関係が気付いているのだなと心が温かくなりました。

星加 由美子・小寺 涼香

～ひかり～

ねらい：「友だちの気持ちに気づく」「寒さに負けず体を動かして遊ぶ」

うた：「豆まき」「がんがん」「友だちっていいな」

ひかり組になってから 10 か月が過ぎ、段々とお兄さんお姉さんの気持ちが大きくなってきた子どもたち。つぼみ組のお世話も引き続き、うまくいかないことも経験しながら頑張っています。自分たちがしてもらったことを思い出して年下の子を思いやる気持ち、だいち組への憧れの気持ち、いろんな気持ちを教えてくれます。ひかり組として過ごす残りの 2 か月、同じクラスの仲間としてお互いに心地良い関係が築けるように見守っていきたいです。

“ひかりさんだからね！”



年が明けすぐに通常通りの生活とはいかなかった 1 月ですが、そんな中でも話をよく聞いて臨機応変に生活をしてくれたひかり組の子どもたち。「きょうのごはんはどこ?」「まだおへやには はいらないの?」普段の生活の流れをよく理解しているからこそ、たくさん質問して自分たちで考えようとしていました。もしかしたらいぶきさんが困ってるかもしれないと伝えると、すぐに助けに駆けつけてくれたり、「だいじょうぶ?」と声をかけてくれたり、お兄さんお姉さんらしい姿がたくさん見

られました。そんな子どもたちの姿にありがとう、すごく助かるよと声をかけると決まってみんなが同じように“ひかりさんだからね!”と一言。ひかり組であることに自信をもって誇らしい表情をしている子どもたちを見て何だか温かい気持ちになった出来事でした。だいち組と一緒に遊ぶことも、だいち組が何をしているのか気にする姿も日に日に増えて、楽しみな気持ちが大きくなっている様子が感じます。いつもだいち組が頑張ってくれている園庭を最後までピカピカにお片付けすることも「もうすぐだいちさんやからな」とひかり組の子も負けじと一所懸命取り組んでいます。そんな姿を見て、きっとかっこいいだいちさんになってくれるんだろうな、と今から楽しみです。

“寒さになんか負けないぞ”

午前中に園庭で遊んでいる時間、雪がちらつくほどの寒さが続いています。子どもたちは毎日寒さに負けず身体を動かして、ほっぺを真っ赤にしながらか元気いっぱい遊んでいます。

最近鬼ごっこが始まると、男の子も女の子もクラスも関係なく、「いれて!」と集まってきて、気づくと園庭にいる子みんなが参加して盛り上が



っています。

特に乳児さんがお部屋に入ってから時間は園庭を広く使えるため、砂場を刑務所にしてケイドロが大盛り上がり。“鬼になった人は追いかける役と守る役に分かれた方がいいよ!”というだいちさんからのアドバイスを聞き、作戦を考えながら真剣に取り組んでいます。みんなでたくさん身体を動かして寒い冬を乗り切りたいと思います。



“担任の思い”

4 月から子どもたちの興味・関心のあることに寄り添って遊びを展開してきましたが、色々な経験をする中で自分で考え、自分の思いを話してくれたり、友達と一緒に楽しむ機会が増えてきたように感じます。子ども達からやってみたいことや興味のあることを伝えてくれることが増え、一緒に考えたり挑戦したりと私自身も楽しませてもらう毎日です。一人ひとり興味のあることは様々ですが、それぞれが挑戦することや夢中になって取り組む経験が出来るように残りの 2 か月、大切に見守っていきたいと思います。 尾崎 美緒

～はま・かぜグループ～

～ゆきがつもったよ～

先日、保育園にうっすらと雪が積もりました。登園してきた子どもたちは、「わあ、きれい」「早く園庭に行こうよ」と少しではありましたが、今年初めての積雪に子どもたちは大喜び。

築山や滑り台、椅子や机が雪で真っ白になっていました。

園庭に出ると、雪のある方へ向かって走り、早速雪遊びが始まりました。築山でスキーのように滑って遊んだり、雪を踏みしめる感触を楽しんだり。「さむい」「ゆきつめたい」と言いながら雪遊びに夢中の子どもたちでした。

そして、だいち組の子どもたちが「このゆきいっぱい集めたいなあ」「それやったら、いい方法があるよ」と話し、スコップとバケツを持って、雪を集め始めました。それを見たいぶき組やひかり組の子どもたちは、「私もやりたい」と言い、3、4人のチームに分かれて、それぞれ一つのバケツに集めることに。「せんせいみて！こんなに集めたよ」とバケツいっぱい集めた雪を笑顔で見せてくれました。

雪の冷たさ、固まる楽しさ、溶けてなくなってしまう不思議さ、大人になればすべて当たり前ですが、子どもたちにとっては、どれもとても楽しいわくわくするものなんだろうと思います。またかえて保育園に雪が積もり、子どもの驚きや発見と一緒に楽しみながら、子どもたちと雪遊びを楽しみたいです。



～かかわり～



室内での出来事です。まだひらがなを読むのが難しいいぶき組の子どもが、絵本をじっと見ている姿を見て、「よんであげようか?」「わたしもよんであげる」とひかり組の子どもが優しく声を掛けていました。ひかり組の子どもは、文字が反対方向にあるにも関わらず、一文字一文字正確に読んであげています。時には、保育者の真似をして、絵本を持ちながら読んであげる姿も見られました。途中で難しい言葉が出てくると、「これはね、〇〇って意味なんあだよ」と教えていました。いぶき組の子ども

は、お兄さんやお姉さんに絵本を読んでもらえる嬉しさを感じながら、絵本を楽しんでいました。絵本を読み終わると、「お兄ちゃんに絵本読んでもらったよ」「ぼくね、いぶき組さんに絵本を読んであげたんだ」とお互い笑顔で保育者に伝えてくれました。これからも遊びを通して、年上や年下との関わりが深まっていく姿を大切に見守っていきたいと思います。

“担任の思い”

気の合う友達と一緒にごっこ遊びをしたり、年上の子どもとカードゲームや鬼ごっこをしたりと異年齢で過ごすことを楽しんでいます。去年に比べると、ひかり組の子どもたちがいぶき組のお世話をしてくれることが増え、いぶき組の子どもたちにとっては心地よい存在でもあり、頼ったりする姿も見られるようになりました。友達同士の関わりの中で意見や思いがぶつかり、上手いかないこともありますが、互いに納得できるやり方も増えています。これからも子どもたち同士の関わりを大切に見守りながら、どのように変化し、深まっていくのかとても楽しみです。

峰 夏音

～だいちぐみ～

ねらい：「持ち物や時間を自分で確認しようとする」「周りの人にしてもらったことに感謝する」

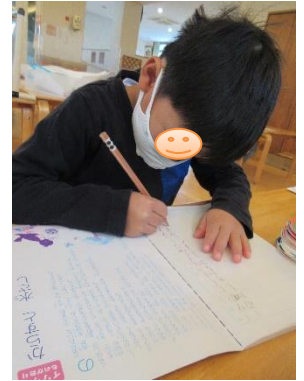
うた：「豆まき」「がんがん」「あしたははれる」

新しい1年が始まって、小学校での生活のことも気になってきただいち組。楽しみな気持ちとは半面、「保育園で過ごす時間もあと少ししかない!」「まだまだ保育園にいたいなあ。」と寂しさも出てきているようです。たくさんの人と関わって、たくさんの人に助けってもらって、泣いて笑って過ごしてきたことを、改めて振り返り、感謝の気持ちを伝え合う機会も大切にしていきます。みんなで過ごすことができるのもあと2ヶ月。毎日を大切に過ごしていきます。

“1年生ってどんなことするのか?”



1月17日、防災訓練で浜脇小学校まで避難した後、そのまま文房具屋さんに行って、一人ひとりの連絡ノートを買に行きました。その日から就学に向けて、自分で責任をもって持ち物やお知らせを確認したり、文字に関心をもつことができるように連絡ノートを使い始めました。次の日の持ち物や、お知らせを自分で書いていくのですが“自分だけのノート”が嬉しかったようで、書くことが楽しくてたまらないだいち組。朝登園するたびに「今日もノートもってきたよ!」「今日はなにかく?」と聞きに来てくれます。わからないところは、隣に座っている友だちに聞いたりしながら書いていきます。「なんだか1年生になったみたいだね。」と嬉しそうなお子もたち。



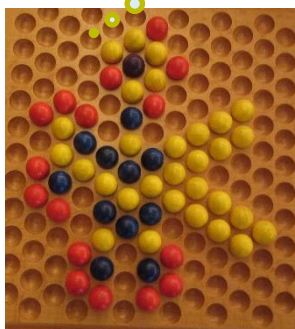
楽しみな気持ちをもって、1年生になる日を迎えて欲しいです。

朝登園するたびに「今日もノートもってきたよ!」「今日はなにかく?」と聞きに来てくれます。わからないところは、隣に座っている友だちに聞いたりしながら書いていきます。「なんだか1年生になったみたいだね。」と嬉しそうなお子もたち。

楽しみな気持ちをもって、1年生になる日を迎えて欲しいです。

りゅうだよ!

だいちエルマーとりゅうの冒険”



運動発表会ごっこや、園外保育などを通して、エルマーと竜探しを続けてきた



だいち組。なかなか会うことができないのはどうしてだろうと、考えました。「人間のことが怖いから、姿を見せられないのかな。」「だいちさんがみんな優しいよってこと、伝えたいね。」など、みんなそれぞれが感じていること、考えたことを話し合いました。実際に竜に会わずに、だいち組の思いを竜やエルマーに伝えることは難しく、思いついた方法から試してみることにしました。まずは、竜の大好きなみかんの皮を使って足湯を作り、いい香りでおびき寄せる作戦。その次は絵や製作で竜やエルマーを作ってみてもらえるようにすること。そしてその次は、きれいな音楽を届けること、そして竜がもし捕まってしまうとしたら、どうやって助けるのか、動物やエルマーになりきって表現すること、でした。たくさんの作戦が出てきましたが、どれも全力で取り組む子ども達。子ども同士で意見を出し合い、18人がひとつのイメージをもとに合奏や表現遊びを作り上げています。一人ひとりの気持ちを、みんなが大切にする機会にしたいと思います。

“担任の想い”

だいち組になってから、エルマーの冒険の話を通して、自分たちが考えていることを話し合ったり、相手の意見を聞く機会が多くありました。普段の生活や遊びを通して、互いに気持ちを伝え合ったり、相手の思いを知ることで自分の考えや行動を振り返ることも経験してほしいです。2月にかえてフェスティバルもありますが、発表会だから、表現するのではなく今まで保育園で過ごしてきた体験したこと、考えたことを一人ひとりが自信を持って発表する場にしたいです。

林 奈津美

～先生コーナー～

今年の冬は例年と比べてとても寒かったように感じます。その影響なのか、1ヶ月に2度体調を崩してしまい、自分の生活面を見直すきっかけになりました。それと同時に寒暖の差が激しい冬が嫌いになりかけましたが、冬は姪っ子の誕生月でもあるので私にとっては特別な季節でもあります。今年の3歳のお誕生日祝いでは、母と一緒に手作りあんパンを作り、アンパンマンの顔を描きました。渡したときのことを考えて作っているだけで楽しく、手作りならではの、おいしいものが完成しました。かえで保育園の子どもたちにも、お昼ごはんの時間が待ち遠しくなるようなメニューを考え、時にはいつもと違った見た目のおやつを作りたいと今回のパン作りをしたことにより思いました。「美味しい」と言いに来てくれる子どもたちが多く、いつも心がほっこり温かくなることばかりです。これからも食べてくれる人たちを笑顔にできるごはんを作っていきたいなと思います。

廣田 恵

～お父さんコーナー～

私は公立の保育士をしています。日頃のかえで保育園の取り組みや日々の過ごし方を娘を通してみると、一貫したものが感じ取られ「かえで保育園に入れて良かった」と心から思うことが多くあります。公立の保育士は平均して3年～5年程で職場を転々とし、市内を回っています。その都度、新しい環境に身を投じることになるので、人間としての経験値は上がります。ですが、その場所場所やり方やルールなどが異なるため、保育を行なっていく上で一貫性に欠けることも多いです。反面、かえで保育園のように基盤が成熟し0歳～6歳になるまでのつながりのある保育を行えることに対して、憧れに近い羨ましさを感じることがあります。先日の10周年式典の歴史を目の当たりにして、より一層そう思うようになりました。

それは、娘の姿を間近にみていると明らかで絶えずつながりのある日常の話を教えてくれています。朝になると休みたいだの、あと何回でお休みだの言っていますが、夜になると1日の出来事をお風呂で話してくれたり、絵にかいて教えてくれたり…。それらの話を通してかえで保育園の先生方は、子どもを主体として日々関わってくださっているのだなと思っています。子どもたちと向き合う大変さ、難しさ、楽しさを同業者として、共有できることも多いので、かえで保育園に通えることが本当に嬉しく感じています。

「安心して仕事に行ける」というこの日常に感謝して、残りの保育園生活を娘には大いに楽しんでもらいたいと思います。

保護者の方からのお話コーナー

最近、我が家では家族1人1人のいいところを言い合うというのが流行っています。自分のいいところを言われるたびに少し照れながら嬉しそうな顔をする娘たち。普段からいいところに目を向け、伝えてあげようと思います。

いぶき・だいち組 じゅりさん

最近、おかずを食べたくないという時があります。なるべく食べて欲しいので説得しようとする「保育園では食べるけど、家では食べないんだ。」と決意を伝えてくれます。保育園で食べているならと、父親は安心してしまいます。いつもありがとうございます。

つぼみ組 たつやさん

あと3ヶ月で1年!!最初は慣れてくれるか心配でしたが、今では毎日行くのが楽しいみたいで、教室まで走っていきます。家ではなかなかできないことを保育園を通して学ぶことができ嬉しく思っています。

めばえ組 まいさん

1人でできるお兄ちゃんには絶対負けたくない強気モードの時と何も出来ない、全部手伝って欲しい赤ちゃんモードの時間が瞬時に入れ替わる息子です。

甘えてる時はびっくりする程赤ちゃん言葉、しゃべり方になるので私は「…」感情が追いつきません。保育園へお迎えに向かう際「今日はどっちのモードかなあ〜」と楽しみにしています。

いぶき組 よしみさん

保育園生活も残り2ヶ月となり、最近お兄ちゃん、お姉ちゃんに卒園式の話をしてドキドキしています。卒園するのは寂しいけれど、卒園式という大きな行事はとても楽しみにしています。“だいちさんとして、しっかりしないと”と娘なりに思っているようで、成長したなあとしみじみ感じる日々です。

だいち組 まきさん

ひかりの姉はいい意味で面倒みが良く（悪く言うとおせっかい）ふたばの弟のお世話を園でもおうちでもよくしてくれます。寝る前はきまって弟に絵本の読み聞かせをし、ダメなことをしたら母の代わりに叱ってまてくれます。（叱る時の言い方は母のコピー…）そんなしっかりものの下でのびのび自由奔放尚且つジャイアンかのように育てている弟君です。

2人のこれからの成長を見守りたいと思います。

ふたば・ひかり組 まちこさん

☆お台所より☆

～こんなことがあったよ～

1月7日にいつもの「藤森クッキング」で七草がゆを作ってもらいました。春の七草（せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ）をおやつの前にだいち組の子どもたちに紹介しました。七草を見ただいち組の中には、「ぼく七草ぜんぶ言える!」「七草食べたことあるよ!」と教えてくれる子がいました。先生から教わった七草を何度も何度も口ずさみ、七草に大変興味をもち、何より苦いはずのおかゆを「おいしい!」と感じることができました。



水漏れ事故で厨房が使用不可になり、急遽園庭で炊き出しをすることになりました。衛生管理に気を付けながら、園庭にダンディタイムで作った窯で、大きな鍋でお野菜たっぷりの豚汁を作りました。お米は白鹿本社の食堂で炊いていただけました。職員皆でおにぎりにしました。子どもたちは普段とは違ったご飯の様子に興味深々で、保育者のバタバタの対応も「いつもと違う楽しさ」に代わりあったかいね!おいしいね!と楽しみながらのお昼ごはんになりました。

2月の献立

2月3日の節分にはちらしずしを。小麦や牛乳などほとんどの食材が値上げとなりましたが、お子様の健康を考えながらおいしい白菜などの葉物を美味しく変身させながら体も心もほっこりするごはんづくりをしていきます。

栄養士 廣田 恵 坂口 未奈



・水漏れ工事について

下記の日程を変更して工事を再開します

【ランチルーム】：2月5日～2月7日

解体・天井張り替え

【1階子ども用トイレ】：2月5日・6日

解体・床張り替え

【つぼみ部屋】：2月11日～2月14日

トイレ・室内床張り替え（床暖房含む）

【2階廊下】：2月11日～2月13日

解体・乾燥・床張り替え

【フリールーム】：2月20日～2月22日

解体・床張り替え

【玄関～スロープ】：2月23日～2月27日

天井張り替え・スロープ・玄関床張り替え

【1階一般トイレ2か所】：2月23日～2月25日

天井解体と天井張り替え

こんなことしたよ♪

1月17日、阪神淡路大震災から27年…
『地震が起こり調理室から火事になる』想定で避難訓練を行いました。

今回はめばえ組からだいち組までの全園児で
浜脇小学校まで避難しました。

めばえ組はおんぶ紐、ふたば組はバギーに乗り、
つぼみ組と幼児は異年齢で手を繋ぎ、防災頭巾を被って歩きます。

園に戻り園長先生から震災当時の話を聞きました。
震災が起こった時、起こった後の町の様子や暮らしの大変さを知る機会となりました。



★お願い★

【新型コロナウイルス感染急拡大における 認可保育所等の対応について】

新型コロナウイルスのオミクロン株による低年齢の子どもを含む感染者が急増しております。また、濃厚接触者が増加する中、保育士自身も自宅待機を余儀なくされるなど、保育に支障をきたす可能性があります。

このため、保育施設における保育体制確保の観点から保護者の方が仕事を休まれるなどで、家庭保育が可能な場合には、家庭での保育にご協力いただきますようお願いいたします。

・体調不良で急遽、コロナに関するPCR・抗原検査などを受ける場合は必ず検査の前にお迎えにお越しく下さい。

・**お子さまの予防接種・受診は登園前ではなく、登園後またはお休みの日をお願いします。**

・降園時の申し送りは、密を避けるため短時間で行います。ご了承ください。



2月の予定

- * 3日（水）保育再開します
- * 7日（月）監査予定
- * 16日（水）誕生会
- * 19日（土）かえてフェスティバル
入園説明会
- * **21日（月）雪あそび（ひかり・だいち）は感染症対策で中止する場合があります**
- * 21日（月）お弁当日（全クラス）
- * 28日（月）おもちつき
- * 未定 体操
- * 18日（金） 絵画
- * 1・2月の月例健診はコロナ禍のため見送ります。

3月の予定

変更する可能性がありますので

- * 12日（土）卒園式
めばえ～ひかりぐみは家庭保育のご協力をお願いします
- * 16日（水）お弁当日（全クラス）
幼児クラスお別れ遠足
- * 26日（土）新年度会議
お弁当日・17時までの保育となります
家庭保育のご協力をお願いします